



アジア・アジアパラ 発売中 千叶



R8年度稲沢市シニアアテンダントの皆さん
井坂美穂さん 日野原真由さん 深見真衣さん

■介助犬候補犬が県議会傍聴に？

2月議会閉会日に介助犬グラディスと介助犬候補犬のピトが議会傍聴席に来てくれました。ご主人の車椅子の横で、ピトは最初の進行係の「議長～！」の大きな声に顔を上げて周りを確認しましたが、おとなしく2時間弱の議会が閉会するまで立派に役目を果たしました。県議会では障がい者の方の補助犬を伴う傍聴は認めていましたが候補犬は初めてのことで。昨年、日本介助犬協会創設30周年記念式典でお会いした協会理事長の高柳友子先生は介助犬自体を知らない方がまだまだ多く議会での取組は違った環境での訓練になり PR にもなるためこれからも

取組みたいとインタビューに答えられました。

県議会では傍聴席に入るには児童及び乳幼児は議長の許可が必要でしたが傍聴規則の一部改正をして許可不要とするなど皆様に傍聴しやすい開かれた議会への取組を進めています。

■牛のげっぶ由来のメタンガス削減へ

昨年の JA 愛知西祖父江ぎんなんブランド部会の総会で県の取組を紹介しましたが、農林水産委員会の一般質問で実証試験やギンナン果肉の調達などについて今年度の県の取組を質しました。今回はその牛のげっぶ由来のメタンガス※(CH₄)削減に向けた測定器等の設備完成に伴う報道機関向けの内覧会があり参加しました。

経緯は古本副知事がオーストラリア視察時に牛のげっぶの CH₄ 削減を図った CN 牛乳が販売されていたとの報告から大村知事が地球温暖化防止の観点から畜産も本県は中部地方で一番であり CH₄ の削減は重要と判断したためです。

※CH₄は二酸化炭素の約28倍の温室効果があり、牛が胃の中で牧草や穀物を微生物に発酵させて消化する過程で CH₄ が副産物として発生し、げっぶとして大気中に放出(体重600キログラムの成牛の場合、1頭で1日に300から600リットル CH₄ 全排出量の約27%)されます。



試験研究では牛のげっぶ由来の CH₄ を削減する飼料等を開発するため、農業総合試験場内の乳牛舎にメタンガス測定器等を整備し本格的に試験研究を開始します。知事は説明の中で飼料等の開発には愛知特産の稲沢・祖父江のギンナンの処分される果肉部分が利用されることに期待している旨を発言頂きました。



高柳理事長

グラディス

ピト



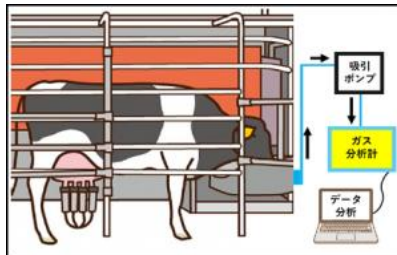
SUZUKI



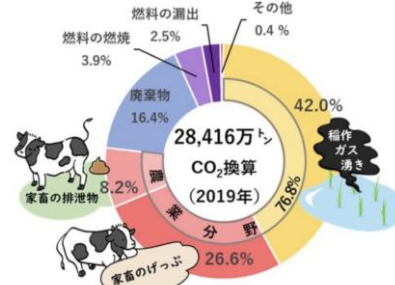
●議員の見学は正副委員長と鈴木ほか1名 ●熱心な記者の質問に答える牛衣装の知事



●搾乳しながら飼料を食べて出るげっぶを分析(写真は下図に合わせるため反転しています)



●自動搾乳機と飼料台で食べる乳牛のイラスト



●日本の CH₄ 排出量の内訳 出典：Unfccc Green house gas Inventory Data 2021年データ

STEP 21 県政 REPORT

2026R08



■いなざわ特別支援学校校舎増築



埋蔵文化財調査のため半年遅れでこの4月に共用開始する校舎の見学会に出席しました。2014年に開校した当時は267人48学級でしたが現在は347人60学級と子ども達が予想以上に増加し今回校舎を増築しました。新校舎は既存校舎と渡り廊下で繋がっており20教室と職員室等で高等部が入ります。一宮市(JR東海道本線西側)、稲沢市、清須市、北名古屋市が通学区域で、子ども達はスクールバスや名鉄尾西線上丸渚駅等を利用した自力通学、保護者による送迎などで登校しています。



川原教育長 柴山校長 知事 SUZUKI (現副知事)

■稲沢市汚泥リサイクル処理センター

2050年カーボンニュートラルの実現に向け資源循環と脱炭素を両立させる取り組みが強く求められていますが、特に、し尿・浄化槽汚泥の処理分野は従来の「焼却・処分中心」から「資源として活用する循環型処理」への転換が重要な政策課題です。当汚泥リサイクル処理センターは、高効率脱水技術により汚泥の含水率を大幅に低減し助燃剤としてエネルギー利用を図ることでごみ焼却時の燃焼効率を高め発電量の増加につながる先進的な施設で、施設の安定的な運用により市民生活の安全安心を支えると共に、化石燃料の使用削減、CO2排出量の削減など環境負荷の低減及び施設の財政負担の低減も図られます。



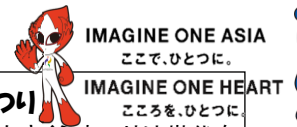
木全議長 SUZUKI

STEP 21

あいち民主県議団の中小企業政策
告で中東情勢の影響を心配する声を予想以上に多く頂きました。ウクライナ(プーチン)・イラン(トランプ)等の早期解決を
アジ・パラが平和とスポーツの祭典となるように… 未来へつづくまちづくりへ一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん

推薦議連(会長)で団体への議会報告
明治さんのR-1の試飲も

●いなざわ植木まつりグリーンフェスティバル 4/20~29 国府宮参道他 ●稲沢市シティープロモーションイベント 4/20~26UR まちのたね(菜森の地下街)



●第32回へいわさくらまつり

長年にわたり受け継がれてきたさくらまつりは世代を超えた交流と絆を深める場として大きな役割を果たしており準備・運営にあたって頂いた実行委員会会長の水谷光宏平和町商工会会長はじめ関係者の皆さまに心より敬意と感謝を申し上げます。



●稲沢市消防団員任命式

小沢実団長の後任の林晃弘新団長のもと山本新副団長はじめ基本団員93名支援団員12名の総計105名が任命され、ご家族に支えて頂きながら活動する消防団員の勇気と献身そして日々の鍛錬が稲沢市の安全・安心を守っていることに感謝しエールを送りました。



●連合愛知尾張南地協36サマロク協定街頭活動

働く仲間、連合愛知尾張南地協(代表:後藤豊田合成労組委員長)の皆さんと36協定(労働基準法では1日8時間・週40時間を超えて残業等させる場合は36協定を結ぶことを義務付けています)の街頭活動に星野、木全、岡野の市議ほかの皆さんと参加しました。



●あま市かしの木会クリーンコミュニケーション

美和町時代にまちづくり活動を始めたあま市かしの木会(30周年 現、山崎一孝会長)はクリーンコミュニケーション in 大江川/蟹江川(宮田用水土地改良区の新大江井筋が並行)などに取組まれており、宮田用水土地改良区としては初めて理事長が参加しました。かしの木会をはじめ企業団体、美和高校、東海農政局、愛知県など大変多くの皆さんがボランティア活動しています。



明治さんのR-1の試飲も

